

10月30日(金) 15:35-17:50

セッションチェアマン：中村 孝(大阪大学)・佐藤 高史(京都大学)

◆ xEV 用パワーデバイスの市場概況と SiC の可能性



株式会社矢野経済研究所
モビリティ産業テクノロジーグループ
グループ長 主席研究員
池山 智也

[講演要旨]

アフターコロナのxEVの市場概況、キーデバイスの一つであるパワーデバイスについて解説する。さらに、本格的な需要が立ち上がるxEV用SiCパワーデバイスの2025年までの市場を展望する。

[講演者プロフィール]

2001年10月 株式会社矢野経済研究所入社。インダストリアルテクノロジーユニット研究員として配属。民生から自動車までの電子デバイス全般の調査を担当。
2020年4月 自動車産業調査を担当する「モビリティ産業ユニット」が新設されて、xEV や自動運転、コネクテッドなどの技術調査を専門とする「テクノロジーグループ」のグループ長に就く。
車載半導体デバイス、ADAS/自動運転などの注目トピックについては年間3本程度のマーケット資料を発刊し、官公庁や民間企業からの個別調査、機関投資家からのプライベートミーティングなども担当する。

◆ 電動車への搭載が広がる RC-IGBT(逆導通 IGBT)の開発



富士電機株式会社
電子デバイス事業本部
開発統括部 デバイス開発部
部長
椎木 崇

[講演要旨]

ハイブリッド自動車、電気自動車など電動車への搭載が広がる RC-IGBT(逆導通 IGBT)は、IGBT と FWD を一体化したパワー半導体素子であり、低損失化に貢献する。

[講演者プロフィール]

1997年3月京都大学工学部卒業。富士電機株式会社に入社し、パワー半導体デバイスの開発に従事。

2011年にケンブリッジ大学にて MSc 学位を取得。現在に至る。

◆ 車載市場向け SiC パワーデバイスの取り組み



ローム株式会社
システムソリューションエンジニアリング本部
FAE1 部 ハイパワーFAE 課 電動パワートレイン G
グループリーダー
榎本 晋文

[講演要旨]

EV 市場における、車載アプリケーションの市場及び技術動向を解説。各アプリケーションでの SiC パワーデバイスの採用動向や今後のトレンド、またロームの取り組みについても紹介する。

[講演者プロフィール]

2004 年 ローム株式会社に入社。パッシブ及びディスクリート半導体の商品企画を担当。
2013 年より RoHM Semiconductor GmbH へ出向。プロダクトマーケティングとして欧州車載市場を担当。
その後、パワーデバイスの商品企画に従事。
現在、システムソリューションエンジニアリング本部にてパワートレイングループを担当。

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【A-1】 with-CORONA & post-Corona の Mobility 動向

【A-2】 モビリティ進化を支える革新キーテクノロジー